

## 新着本



(367)

「ジェンダーのとびらを開こう」  
村田 晶子 || 著  
「女の子だからお手伝いしなさい」  
「男のくせに女女しいなあ」…。家庭や  
学校など何気ない生活の中で無意識の  
うちにつくられるジェンダー意識につ  
いて、身近な例をあげながら、会話形式  
でわかりやすく解説する。



(973/ア)

「「幸せの列車」に乗せられた少年」  
ヴィオラ・アルドーネ || 著  
南部の困窮家庭の子供を北部の一般家  
庭が受け入れる、第二次世界大戦後の  
イタリアで行われた社会活動「幸せの  
列車」。その列車に乗った7歳の少年の  
目を通し、貧困問題や親子関係などを  
ユーモアを交えた筆致で描き出した小  
説。



(596)

「大人のクッキーと焼き菓子」  
石橋 かおり || 著  
大人世代が安心して食べられる、クッキ  
ーと焼き菓子のレシピ集。きび砂糖、黒  
糖、はちみつなどでやさしい甘みを加  
え、果物、野菜、ナッツ、穀物、ハーブ、  
スパイスなど体にやさしい食材を加え  
た48レシピを紹介する。



(159/ワ)

「70歳からの選択」  
和田 秀樹 || 著  
「健康・医療の常識」を守る高齢者ほ  
ど、人生の最期に後悔する！老人医療の  
第一人者が、高齢者に向けて、体力・  
気力の衰え、認知症、老後資金、終活  
の不安にとらわれず自由に生きる方法  
を伝える。



(368)

「ケーキの切れない非行少年たちのカルテ」  
宮口 幸治 || 著  
精神科医の六麥克彦は少年院に勤務し  
て5年。彼がそこで目にしたのは、本来な  
らば保護されてしかるべき「被害者」と言  
わざるを得ない、加害者の少年たちの姿  
だった。「ケーキの切れない非行少年た  
ち」を著者自ら小説化。



(913/イ)

「奇跡を蒔くひと」  
五十嵐 貴久 || 著  
赤字を理由に潰れる寸前の市民病院。勤  
務医が続々と辞めていく中、院長に名乗  
り出た34歳の青年医師、速水隆太は  
「すべての患者を断らない」という方針  
の下、病院再建に奔走し…。『ジャーロ』  
連載に加筆修正し単行本化。

TRCマーク情報より

## 今月の特集



「ワールドカップ」特集  
ワールドカップ出場を決めた日本代表を応援しよう！  
サッカー選手の書いた本や関連本を展示しています。

